

# 自分らしい人生を生き抜いて！ 分身ロボットでヨーロッパ旅行も可能に。

武知 由佳子：医師・いきいきクリニック院長

桑原君「今、エストニアに行ってきました。」  
私「タリンにも行った？」

訪問診療の一コマです。桑原君の分身ロボットが、今ヨーロッパを旅行中。コンピューターを前にしたバーチャルトリップです。すでに10年以上主治医としてかわかる38歳の桑原章太君をご紹介します。

彼は、今まで20歳を迎えられないとも言われたデュシェンヌ型筋ジストロフィーですが、マスク式人工呼吸器、排痰補助装置などといった呼吸ケアと、心保護戦略（ACE阻害薬、βブロッカー）により、38歳の今も、数年体調を崩すことなく、とても元気に活躍しています。小中学校に障害者理解の体験授業を担当したり、障害者の余暇活動を支えるコスモス青年学級の副理事長でコンサートや旅行を企画するなど、精力的に活動しています。

また、神経難病や重度障害で外出困難な人々が遠隔操作で実際に分身ロボット「O.T.H.E.R.O（オトリメ）」を動かし、サービススタッフとしてカフェを運営するプロジェクトに、パイロット2期生として参加し、時給（東京都の最低時給1013円以上）を頂きながら働いています。今は期間限定の実験的オープンですが、2020年には常設店をオープン予定とのこと。

「動けないが働きたい」と思う人々がいることを伝え、人々の社会参加を妨げている課題をテクノロジーによって克服していき、社会そのものの可能性も拡張していこうというものです（by 株式会社オリイ研究所）。

桑原君は、「僕は病いゆえ、誰かの手助けがない



患者さん宅のセキセイインコと戯れる由佳子先生。

武知 由佳子：いきいきクリニック・院長

内科・呼吸器科、医師。2007年、開院。障がい・病気があっても、住み慣れた家・地域で暮らし続けたい、その思いを尊重した医療看護を提供。からだのケアだけでなく、たましい、こころのケアも含めた全人的ケアを行っている。また、残されるご家族の心のサポートのお手伝いも。訪問リハビリテーションに力を入れ、特に呼吸ケアスペシャリスト、緩和ケアスペシャリストによる訪問診療、ナーシング、訪問リハビリを行っている。

▼いきいきクリニック  
〒212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町2-34-2  
TEL:044-522-5556 FAX:044-522-2232  
E-mail: ikiiki.clinic@gmail.com



就労支援の新しいスタイルに挑戦する桑原君、新聞やテレビでも話題になりました。東京オリパラの開催年！分身ロボットの最先端カフェを世界に発信します。

と生活ができない不自由さがあります。しかし社会の役に立ちたいとずっと思ってきました。今回神経・筋疾患の方々の励みになればと、パイロットに応募しました。今までにない充実感を味わっています。」

命にかかわる呼吸や心臓をしつかりケアし、支えているからこそ、患者様は日常生活を営むことができ、さらに自己実現を行うことができるのだと思います。これは、トップアスリートを支えるコーチ陣のようなイメージです。例えばアーティスティックスイミングの選手たちが、水上水中で素晴らしい演技ができるように、井村ヘッドコーチ、ほかにコーチが二人、二人のスポーツトレーナー、管理栄養士、水着作成者、作曲家などがチームとして伴走しています。だからこそ彼女たちは最高の演技ができるのです。

私の役割は、神経難病の患者様が呼吸や循環命にかかわることには何も思わず、安心して自分らしい人生を生き抜くことができ、かつ自己実現できるように、社会でも活躍していけるように、一流のチームを編成し、伴走していくことだと思っています。

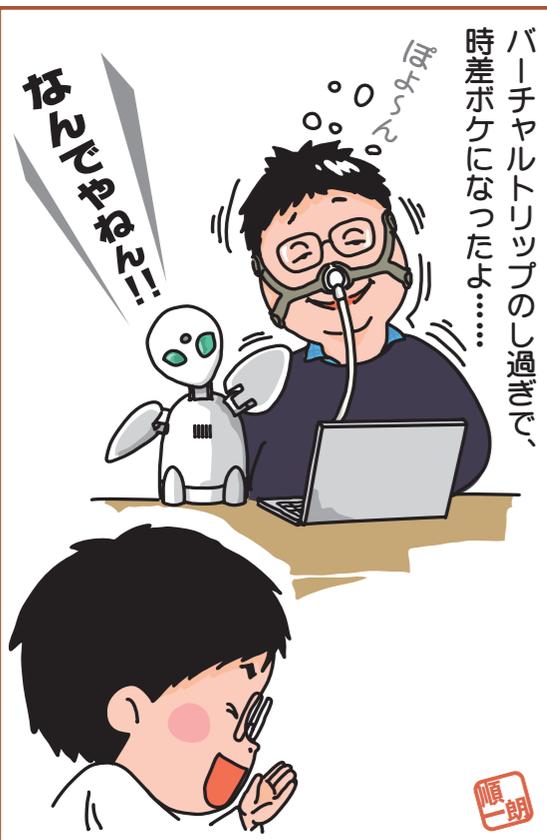


〈ちびちゃん〉野良からお姫様に。寒くて風の強かった訪問診療日、野良のままだったら、冷たい倉庫の端に寝ていただろうに猫ベッドを2個も重ねてもらい気持ちよさそうでした。



〈ニャンくん〉御年22歳。人間で言えば104歳！まだ大きな声で鳴いて出迎えてくれます。団地の猫集会にも参加。ちゃぶ台にもひよいと乗る、すごい！

ペットたちが歓迎してくれる訪問診療は本当に楽しいですよ。



順一朗

堀口 順一朗：イラストレーター

庭園から日本家屋まで幅広い建築表現を有し、ユーキャンなど、多くのグラフィック・マップの製作を手掛ける。また『太平記』（学習研究社）などの歴史物や人物像から、釣り本の解説イラストなどと多岐にわたって活躍。